

事業番号	041
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	集会施設管理事業						担当部	市民産業部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	生活交流課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	生活相談係		
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		1 地域コミュニティ		3 地域活動の充実を図る				
		副目的									
	予算区分	款	2	項	7	目	1	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市総合計画、小牧市集会施設維持管理費交付金交付要綱									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	自治会をはじめ地域活動の促進拠点として、集会施設の維持管理を行う。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容 施設を管理している区に対して集会施設維持管理をするための費用の一部を交付金として交付する。また、この交付金の交付対象となる100施設について、利用者が安心してかつ安全に利用できるように不良箇所の修繕を行うほか、収容可能人数が200名以上の施設については、安全確保のため防火点検を業者委託により実施する。 24年度は、23年度に行った第1次耐震診断で問題のあった6会館について第2次耐震診断を行った。</p> <p>【主な事務事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集会施設に係る修繕</li> <li>・集会施設維持管理費の交付</li> <li>・集会施設保守管理委託(防火点検)</li> <li>・集会施設用地借上</li> </ul> <p>◆24年度直接経費の内訳 旅費:5,300円 需用費:9,822,405円 委託料:8,388,450円 使用料及び賃借料:619,436円 役務費:4,120円 負担金、補助及び交付金:37,316,000円</p> <p>◆25直接経費の内訳 旅費:6,000円 需用費:10,015,000円 役務費:43,000円 委託料:400,000円 使用料及び賃借料:620,000円 備品購入費:56,000円 負担金、補助及び交付金:37,456,000円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	49,052	66,395	56,155	48,596	
		正職員	従事者数	人	0.40	0.20	0.15	0.25
			人件費	千円	2,132	1,066	799	1,332
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	51,184	67,461	56,954	49,928		
対前年比	%			131.8	84.4	87.6		
財源	一般財源	千円	50,215	67,461	56,954	49,928		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	969	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	防火対象物点検報告委託数	施設	目標	41	42	42
実績				41	42	44	
業	集会施設維持管理費交付金対象施設数	施設	目標	99	99	99	99
			実績	99	99	99	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標				
業	修繕工事件数	件	目標	25	25	25	30
			実績	35	30	44	
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	施設管理者から要望のあった修繕等に対して、その要望に応えることができた。また、維持管理費交付金についても、各施設において有効に活用された。				
	改善内容	事業実施における課題	施設の経年劣化に伴い、修繕については今後増えることが予想される。維持管理費交付金について、延床面積によって単純に4段階に分けられているものであるため、地域の実情に即したものになっていない。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	集会施設の維持管理が主な事業であるため、地元負担がかかるほか、担当職員も目が届きにくくなってしまう。				
		平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 財政課が作成予定の公共施設白書と連動し、集会施設の利用状況、地域の財政事情等の調査・研究を行い、維持管理交付金のあり方を検討する。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
		判定理由	事業は順調に推移しているが、施設の経年劣化が進んでいることから、H24は当初の予想を上回る修繕の要望があり、今後さらに多くなることが予想される。各集会施設の劣化状況を把握しながら慎重に進める必要があるため。				
26年度以降の改善案		予算の執行管理を慎重に進めるほか、修繕については今後件数が増加する可能性もあるため、緊急性を見ながら対応していくこととする。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。